

令和3年度 市政アンケート調査 第6回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 目的 | ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。 |
| (2) 調査対象者 | 福岡市内に居住する満18歳以上の市民656人(就任時)
①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
②任期 : 令和3年4月16日から令和4年3月31日まで |
| (3) 調査方法 | 郵送または電子メール |
| (4) 調査主体 | 福岡市 市長室 広聴課 |

2. 第6回調査の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査時期 | 令和3年11月25日から12月9日まで |
| (2) 調査対象者数 | 647人 |
| (3) 回答者数 | 550人 |
| (4) 有効回答率 | 85.0% |
| (5) 調査テーマ | ①「家庭ごみ」について
②「選挙」について
③「食育」について
④「ユニバーサル都市・福岡」について
⑤「福岡市都市景観賞」について |

3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「家庭ごみ」について(N=550)

《雑がみのリサイクルに取り組みたいと思うか》

(過去調査との比較)

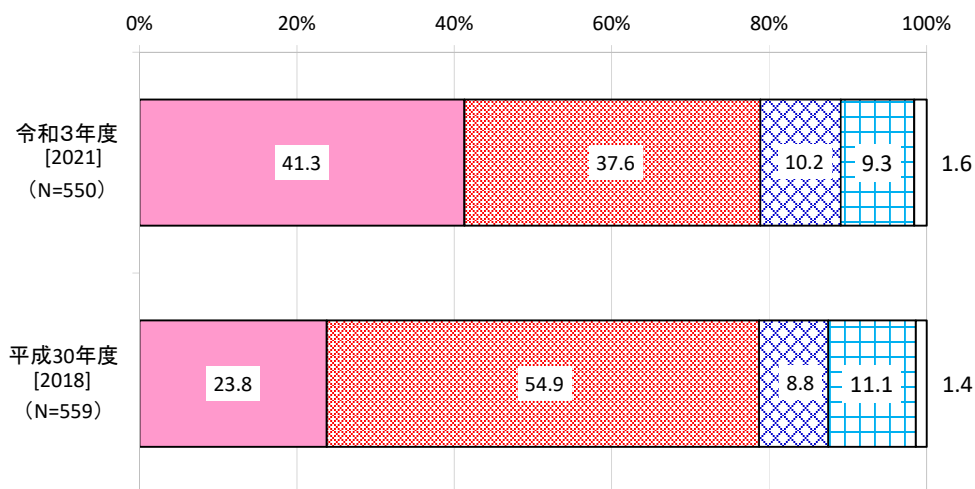
すでに取り組んでいる

 取り組みたいと思う

 取り組みたいと思わない

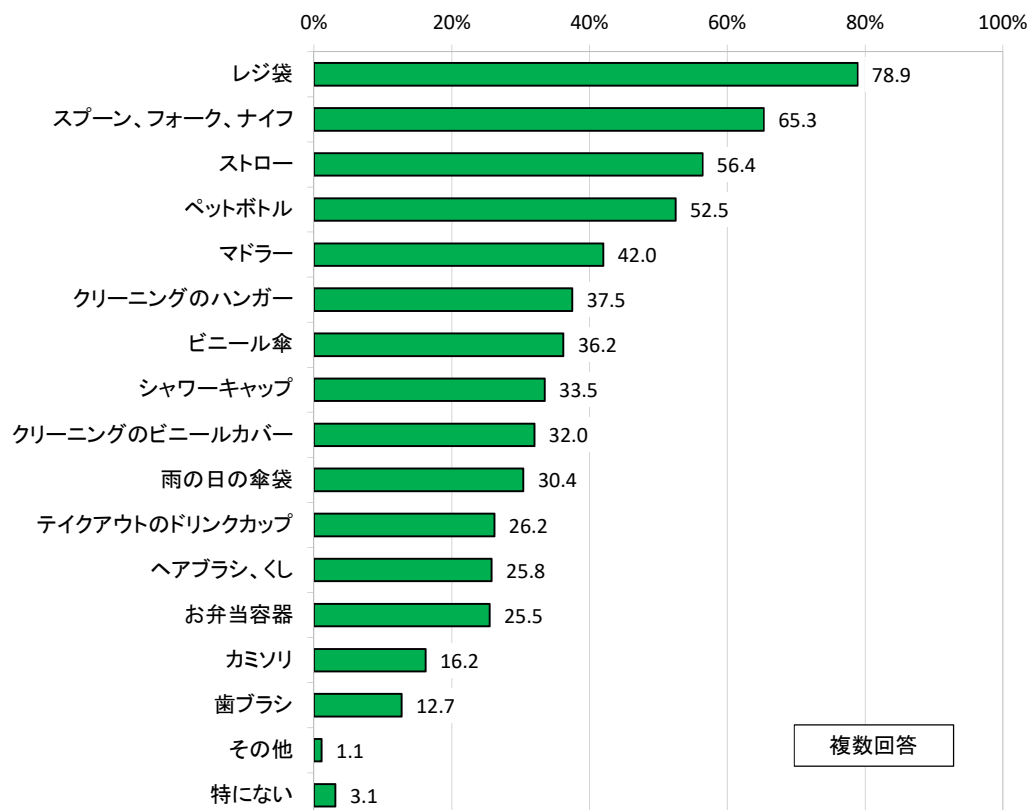
 わからない

 無回答



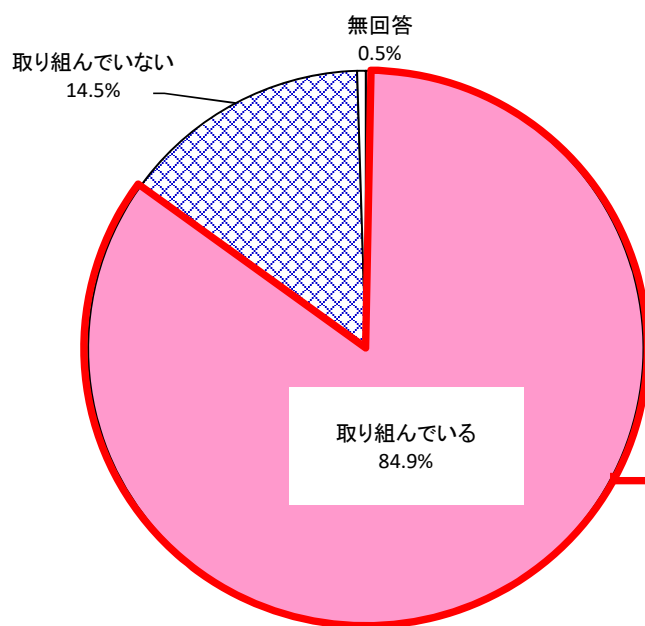
「すでに取り組んでいる」と回答した方の割合は、全体の41.3%で、平成30年度(23.8%)に比べ、17.5ポイント上昇しています。

《生活の中で減らすことができそうだと思う使い捨てのプラスチック製品》

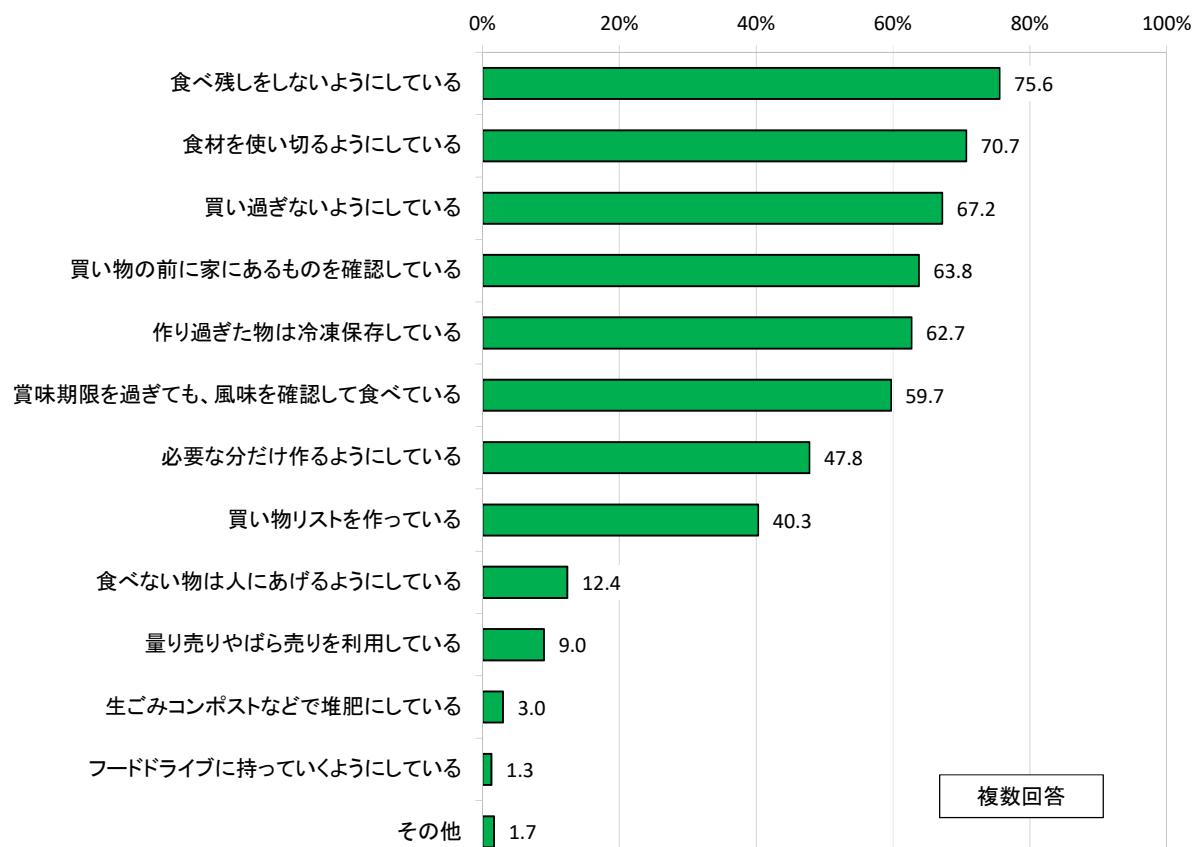


複数回答

《食品ロス削減のために何か取り組んでいるか》

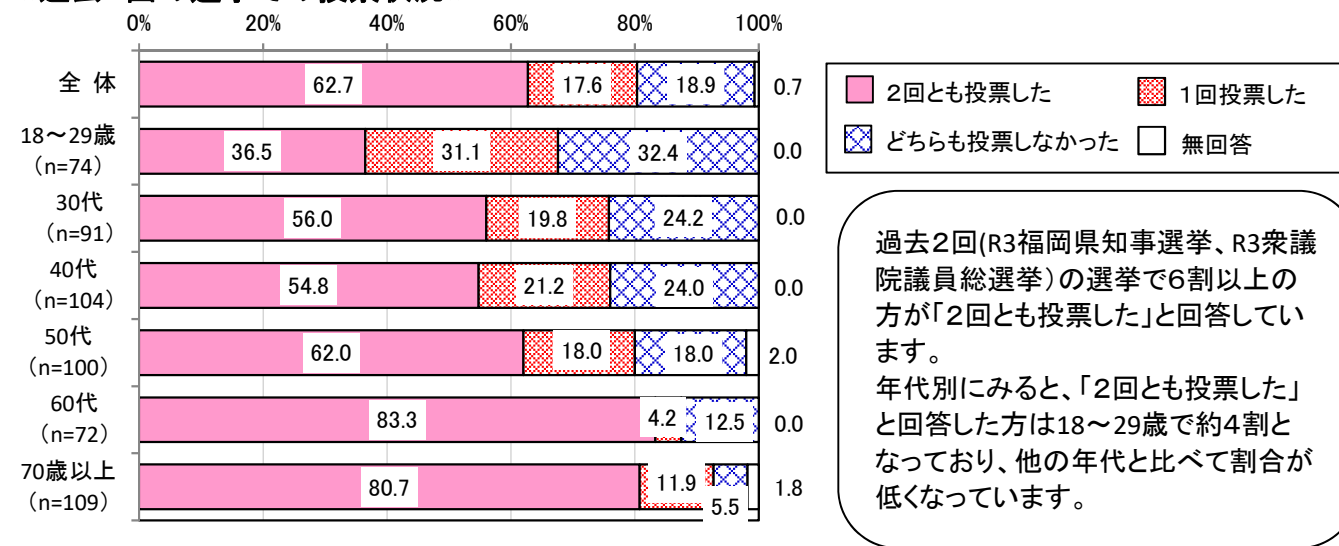


《家庭で、食品ロス削減のために工夫していること》(n=467)

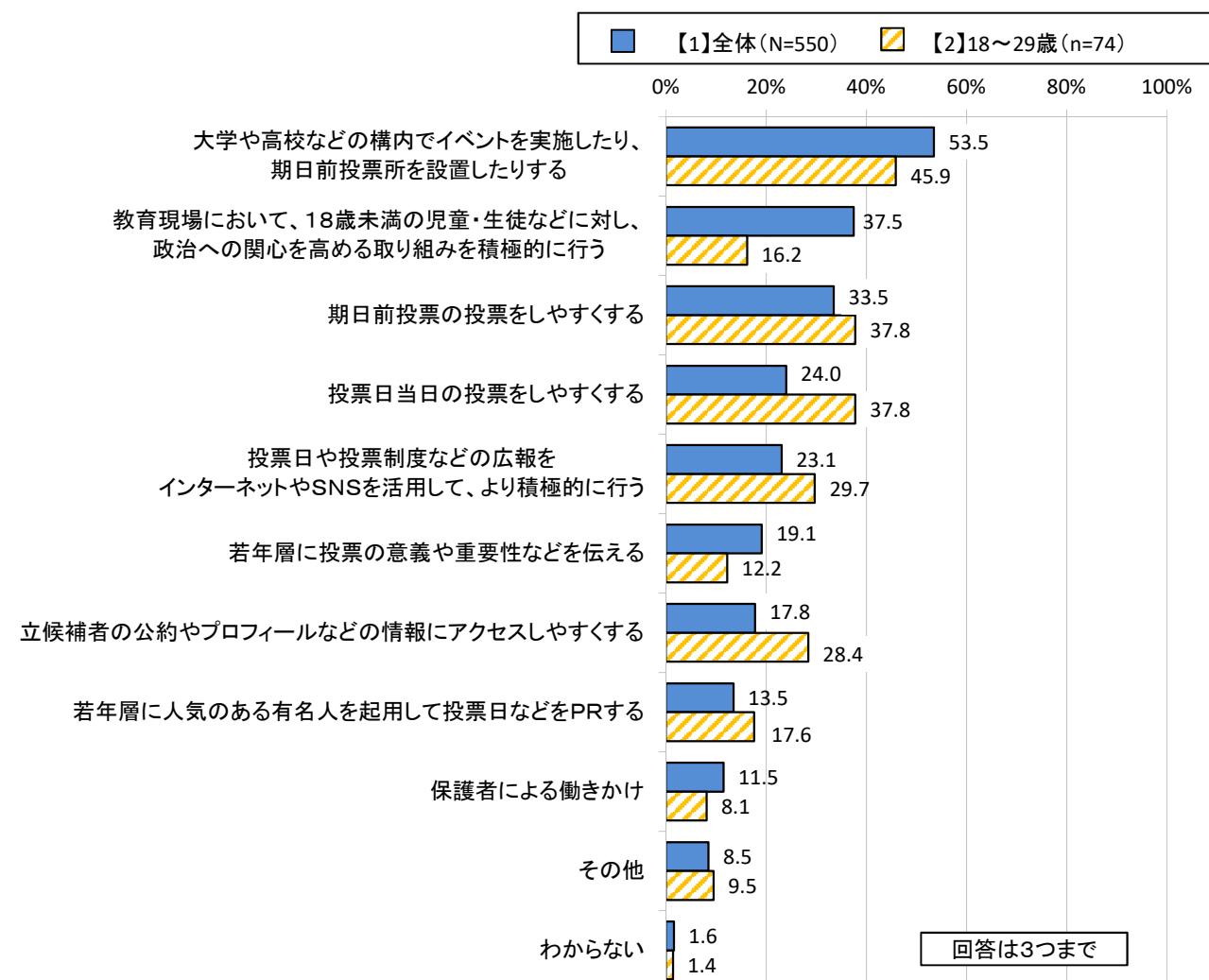


②「選挙」について(N=550)

《過去2回の選挙での投票状況》



《若年層の投票率を向上させるためにはどのようなことが必要か》



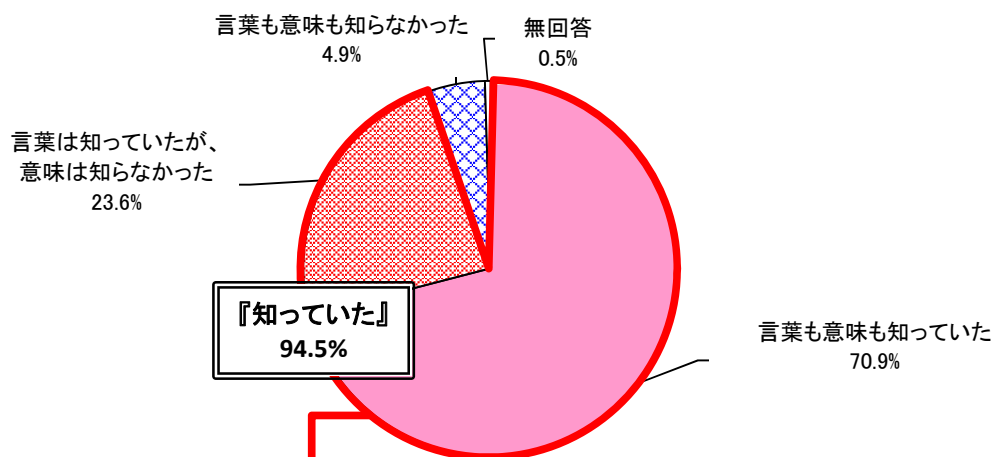
【1】「全体」、【2】「18～29歳」のいずれにおいても「大学や高校などの構内でイベントを実施したり、期日前投票所を設置したりする」と回答した方が最も多くなりました。項目別にみると、「教育現場において、18歳未満の児童・生徒などに対し、政治への関心を高める取り組みを積極的に行う」と回答した方は【1】37.5%が【2】16.2%よりも21.3ポイント高い結果となりました。また、「投票日当日の投票をしやすくする」と回答した方は【2】37.8%が【1】24.0%よりも13.8ポイント高くなりました。

③「食育」について(N=550)

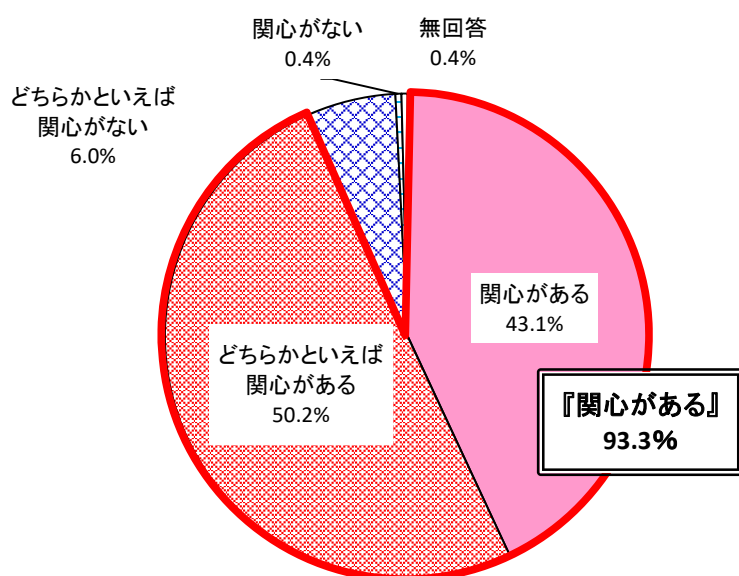
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの

例:『知っていた』=「言葉も意味も知っていた」+「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」

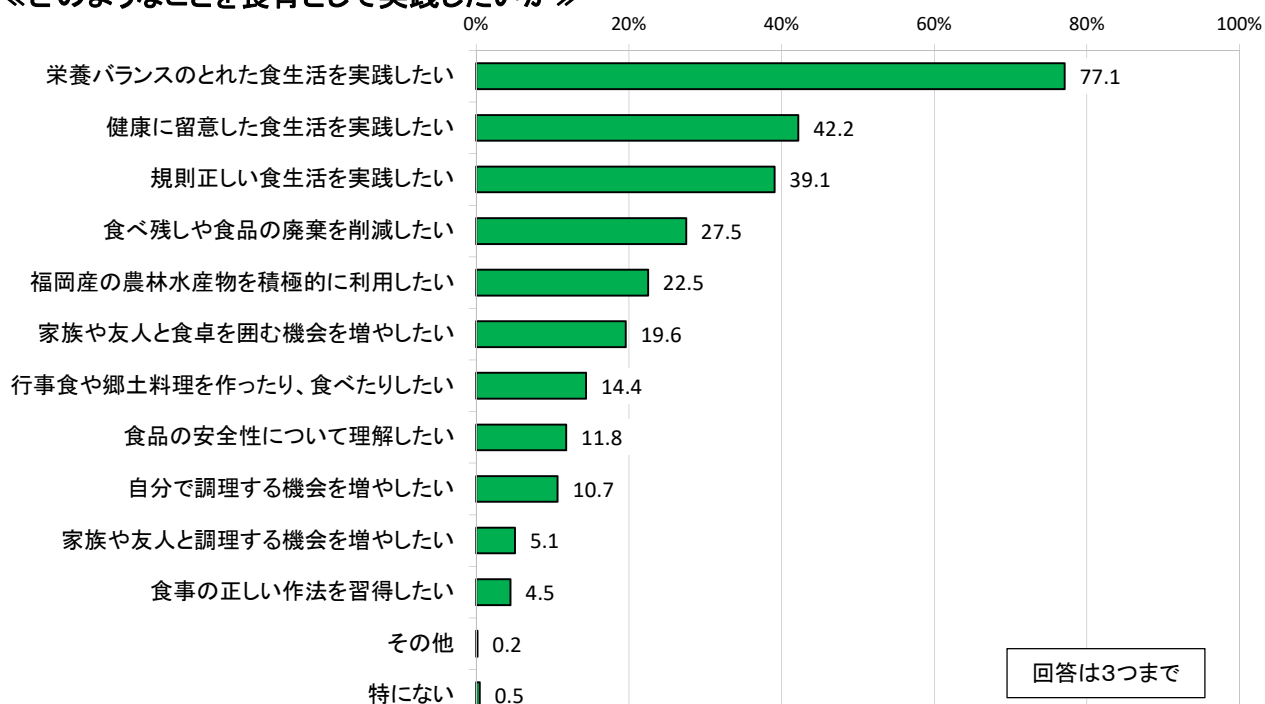
《「食育」という言葉やその意味を知っていたか》



《「食育」について関心があるか》(n=520)

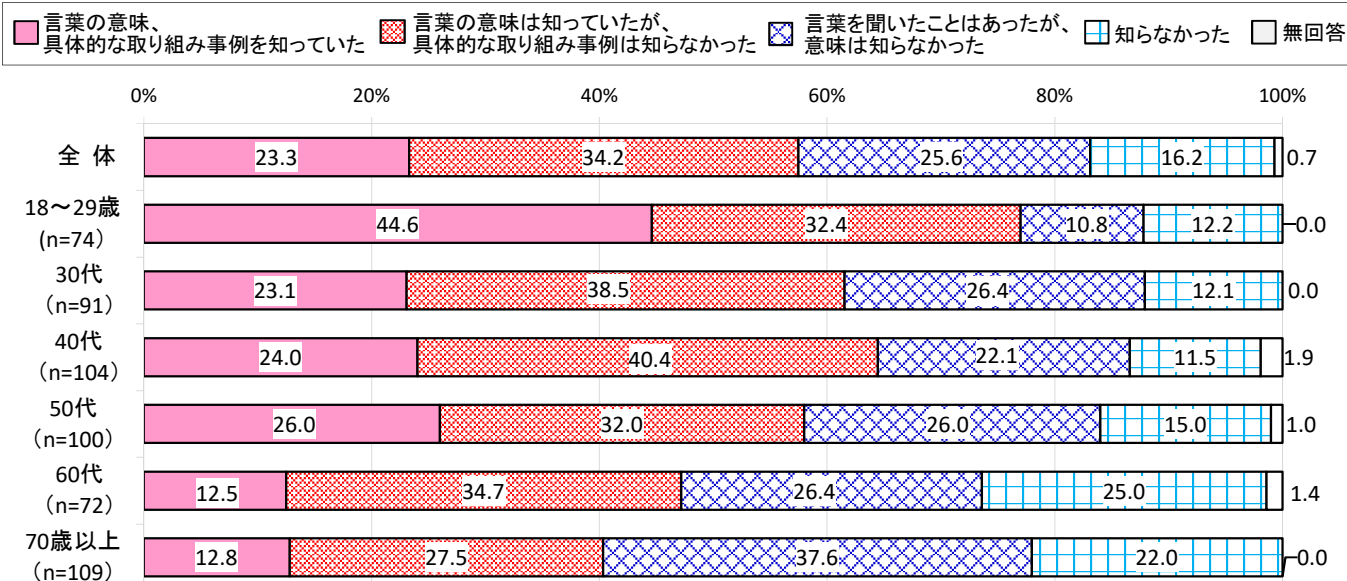


《どのようなことを食育として実践したいか》



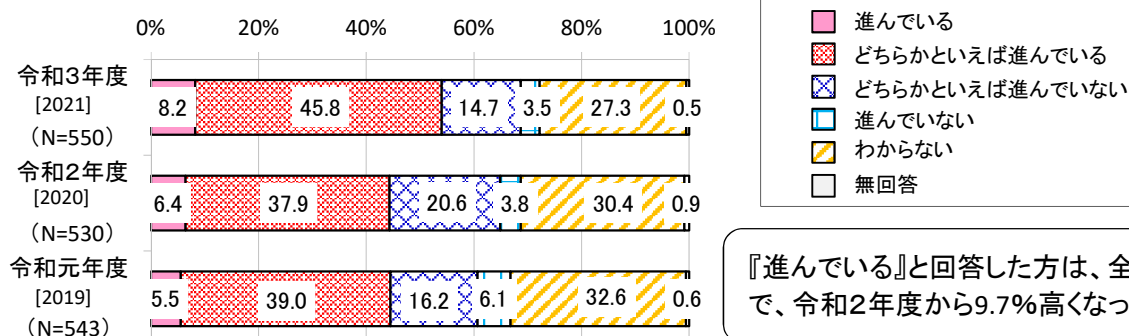
④「ユニバーサル都市・福岡」について(N=550)

《ユニバーサルデザインについてどの程度知っていたか》



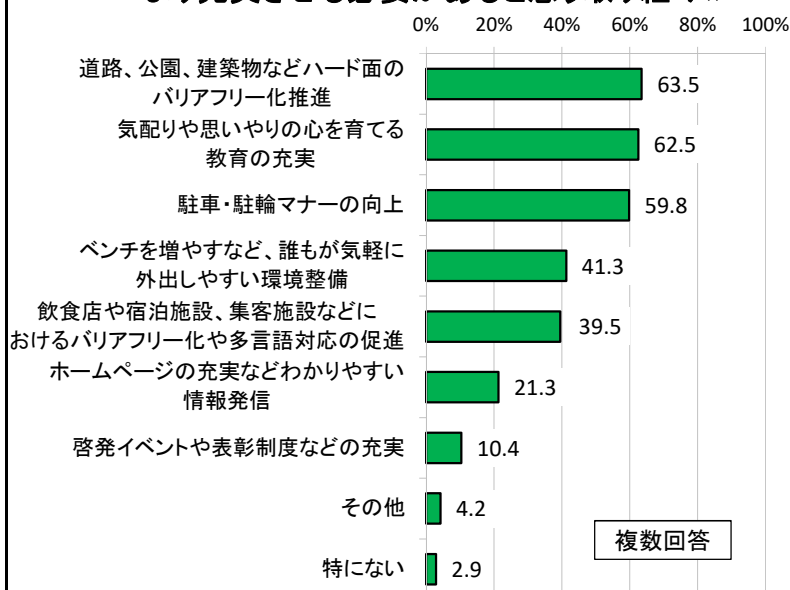
『知っていた』と回答した方は全体の57.5%でした。年代別にみると18～29歳で最も高く、77.0%となりました。

《福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うか》 (過去調査との比較)



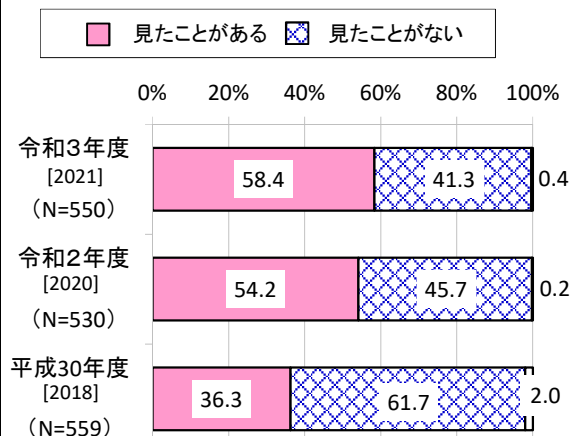
『進んでいる』と回答した方は、全体の54.0%で、令和2年度から9.7%高くなっています。

《「ユニバーサル都市・福岡」を実現するため、より充実させる必要があると思う取り組み》



「道路、公園、建築物などハード面のバリアフリー化推進」と回答した方が63.5%と最も多く、次いで「気配りや思いやりの心を育てる教育の充実」が62.5%となりました。

《「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークを見たことがあるか》 (過去調査との比較)

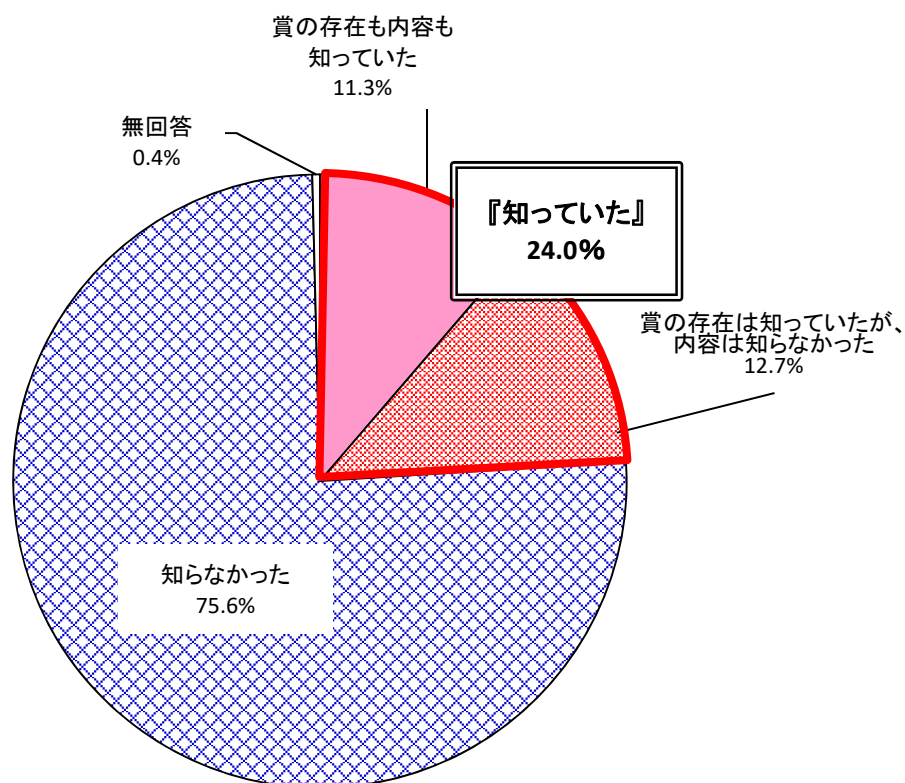


※令和元年度：該当設問なし

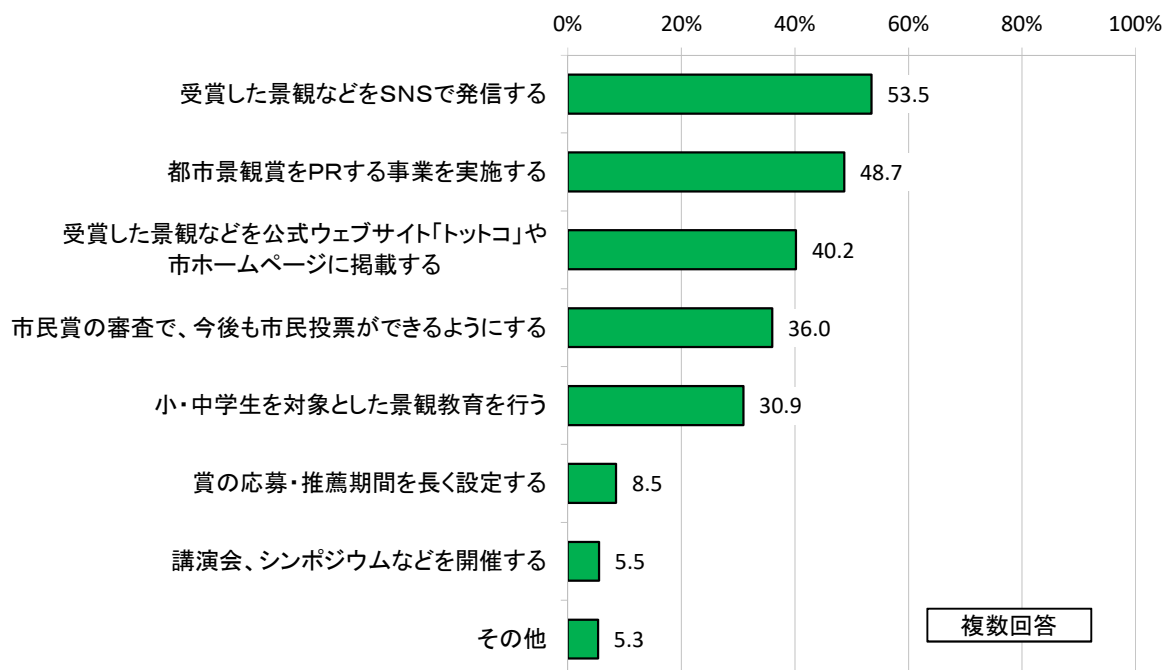
「見たことがある」と回答した方は、全体の58.4%で、年々割合が高くなっています。

⑤「福岡市都市景観賞」について(N=550)

《福岡市都市景観賞を知っていたか》



《都市景観賞を広く知ってもらうためにどのような取り組みが重要だと思うか》



「受賞した景観などをSNSで発信する」と回答した方が全体の53.5%と最も多く、次いで「都市景観賞をPRする事業を実施する」が48.7%となりました。